



社会医療法人 峰和会

# 回生ニュース

101号

2018.7月発行

発行／社会医療法人 峰和会  
編集／鈴鹿回生病院  
所在地／鈴鹿市国府町112番地の1  
TEL／059-975-4212  
FAX／059-975-4717  
URL／<http://www.kaisenhp.com>  
編集協力／TCKhagoya

- 1 医療の現場から  
「健康管理センター長紹介」
- 2 あなたの街のお医者さん  
「白子ウィメンズホスピタル」
- 3 鈴鹿回生病院診療担当医師一覧表
- 4 交通案内（三重交通バス・シャトルバス時刻表）
- 5 鈴鹿回生病院附属クリニック診療担当医師一覧表
- 6 健康コーナー「医食動源」  
・ロコモシリーズPart1 ロコモとは?  
・海老ときのこの甜麺醤炒め
- 7 回生.com  
「初期臨床研修医紹介」
- Information

第11回 桜フォトコンテスト 各部門受賞作品決定!! 他

## サマー コンサート 開催いたします！

Suzuka Kaisei Hospital Summer Concert 2018

今年もサマーコンサートを開催いたします。今回は AKITA ファミリー・ギター・アンサンブルの皆様をお招きしてミニコンサートを開催いたします。他にも看護部による催し物、職員による三味線演奏、院内保育所「回生キッズ」の子供達によるダンスの披露等も企画していますので、たくさんの方のご参加をお待ちしております！

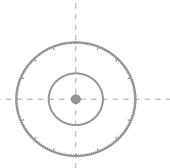


平成30年 8月 4日 (土) 14:00～



病院1階総合受付前





# 健康管理センター長

## ごあいさつ

Greeting

4月より健康管理センターのセンター長として笠井医師が赴任されました。今号では笠井医師のご紹介と健康管理センターについてお伝えします。

### ごあいさつ

私は徳島県出身で、1998年徳島大学医学部を卒業後、結婚を機に三重県へ参りました。三重大学第一内科へ入局し、山本総合病院（現桑名市総合医療センター）・亀山市立医療センターなどの医療機関にて消化器内科医として勤務し、その後県立総合医療センターで連携大学院生として学位を取得後、この4月から、健康管理センター長に就任いたしました。

当院の健康管理センターでは、一般健診、特定健診、人間ドックをはじめオプションでは、脳ドック、肺ドック、心臓ドック、婦人科検診などを行っています。がん検診においては、乳がん検診、子宮がん検診、前立腺がん検診、胃がんの原因菌であるピロリ菌をチェックするABC健診のオプションなどもございます。なお、将来の脳梗塞、心筋梗塞の発症リスクを予測する「LOX-index」や、健診データから現在の健康状態を年齢で表す「健康年齢」などのオプション検査も近々導入予定

です。

医療の進歩により時代は大きく変化しています。例えばがんの治療であれば、近年の遺伝子解析技術の発展により、患者さんの体质によってこの薬は効く・効かない、といった事が分かるようになってきています。これを「個別化医療」といいます。健診においても、疾患の発症リスクや生活習慣に対する感受性に応じたオプションも含め、将来的には個々に応じたオーダーメイドの健診ができればと考えています。

健診でもやはり待ち時間が発生します。お待たせしないことが一番理想ですが、やはりお待たせしてしまうことが多い為、待ち時間を少しでも快適にお過ごしいただけるような工夫をしております。例えば、フロアに展示物をおかせていただき、お目通しいただくような取り組みは行っているのですが、せっかく病院に来ていただいているので、さまざまな医療知識や、医療のトレンドを学んでお帰りいただけるような企画を現在模索中です。また、当院の人間ドック等をお受けになられた受診者様には、保



健康管理センター長  
笠井 智佳

健師が医師の診察の後に生活改善のアドバイスをさせていただきます。診察の結果をもとに、個々のライフスタイルに合った保健指導をいたします。

### 患者さんへのメッセージ

まずはご自身の健康管理に目を向けていただきたいと思います。症状の無い方は、病院に来ること自体、足が遠のくと思いますが、症状がない段階で早期発見、早期治療をすることが、健康寿命を延ばす秘訣です。車にも車検があるように、人間の身体にも定期的なメンテナンスが必要です。また、健診は受けてから間隔があいてしまうと何らかの変化が起きる場合もあります。できれば年に1回継続的に、健診をお受けいただくことをお勧めします。当健康管理センターは、病院に併設しており、早期治療介入が必要な場合は迅速に対応可能です。皆様の健康を守るために何らかのお手伝いをさせていただく事ができると思いますので、ぜひ当健康管理センターをご利用ください。



## 連携医療機関紹介

# 白子ウィメンズホスピタル



▲二井 栄院長

### 2012年リニューアルしました

白子ウィメンズホスピタルは国道23号体育館前の交差点を南東へ500メートルほどのところにあります。壁面のガラスに植物のモチーフがあしらわれた4階建。中に入るとそこはまるでホテルのロビーのように広々とした待合が広がります。



院長の二井 栄先生は昭和51年（1976年）に三重大学医学部をご卒業後、塩浜病院（現県立総合医療センター）で10年、産婦人科医として研鑽を積まれ平成3年（1991年）白子クリニックとして、この地に開業されました。白子クリニックでは産婦人科と小児科の診療を行っていましたが、手狭となり、平成13年（2001年）小児科診療所を併設しました。そして開業から21年後の平成24年（2012年）現在の建物にリニューアルされたのです。リニューアルまでの経緯を先生に伺うと「建て直す機会があれば免震構造の建物にしたいという構想はあったのですが、2011年に東日本大震災があったことで、より現実的になりました。あれだけの大きな地震がきたら、立っていられませ

ん。自分がまともに立つこともできなければ、赤ちゃんを救うことなどできません。いつ起きるか分からぬ震災に備え、また三重県の周産期医療を守っていくなければならないという使命感から、建て直しを決意しました。リニューアルに際しての私の想いは、①病室を大きく②エントランスからの瀟洒（しょうしゃ）な佇まい③鈴鹿にはない建物でした。設計の段階では余余曲折ありましたが、自分の理想である免震構造の建物に生まれ変わりました」。

### 有床診療所から病院へ

平成28年（2016年）白子クリニックは、病床数が10床増えたことで、有床診療所という括りから病院へと変わり白子ウィメンズホスピタルとなりました。病院は科学としての医学に基づいた診療を行うための、設備や環境が整っていることが必要で、多くの設備の基準や、医師をはじめ、薬剤師、看護師などの満たすべき人員基準が決められています。それらを満たすことではじめて、厚生労働省に病院として認められます。現在、総スタッフは100名程度で診療をおこなっています。

### 現在の産婦人科医療について

三重県医師会と鈴鹿市医師会の副会長を兼務しておられる二井院長に現在の産婦人科医療について伺うと、「池田智明教授になってから三重県では産婦人科医が増えています。地方の大学では三重県だけといつても過言ではありません。数年したら中堅が育ち、三重県の周産期医療は良い方向へ向かっていくのではないかと思います。分娩に関しては、全国的に二次医療が機能していないのが現状です。さまざまな医療背景のもと、二次へ送る施設が機能していないのはやむを得ない状況であると思います。そんな中で当院では1.5次くらいまでの医療を担うつもりで日々診療をおこなっています」。

## DATA

**TEL 059-388-2221**

### 住所

三重県鈴鹿市南江島町9-15

### 診療科目

●産科 ●婦人科 ●小児科

### 診療時間

午前／9時00分～12時00分

午後／3時00分～6時00分

土曜午後は2時00分～5時00分

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	×	○	○	○	×
午 後	○	○	×	○	○	○	×

### 休診日

水曜、日曜、祝日



### 患者さんへのメッセージ

～私が大切にしているのは、患者さんに寄り添ったお産です。お産というのは、不安なこと、心配なことがたくさんあります。そのため、周りのスタッフの対応は非常に重要です。退院の際、患者さんから頂くアンケートで「上から目線のスタッフがいた」など、の苦情のお声がありました。そこで、1年半ほど前から、「寄り添ったお産」をテーマに医師を含んだスタッフの教育に力を入れました。するとアンケートの声に感謝の言葉が増えたのです。これは、スタッフの努力のたまものだと思っています。基本は地域医療を支えること。当院でお産をしてよかったな、と思っていただける医療を提供して参ります～

今後もこの地域の産科医療の担い手としてご尽力されることでしょう。



理学療法士  
加藤 俊宏

## ロコモって何?

「ロコモ」という言葉を知っていますか?また、その意味もご存じでしょうか?

はじめてこの調査が行われたとき、三重県での認知度は全国最下位でした。最近でもまだまだ半数以上の人々は知らない状況です。

さて、ロコモとは「運動器の機能低下によって歩き難くなること」です。運動器は骨や筋肉、関節といった動くための器官です。これらの働きが悪くなると、自立した生活が送りにくくなります。

ロコモの予防には、**運動・栄養**などの良い生活習慣が重要です。ロコモを知って、自分で歩き続ける身体を維持し、健康寿命の延伸につなげましょう。



## 発信@ 栄養管理室



管理栄養士  
田川久美子

### ●えび

えびは3000にもおよぶ種類があり、それぞれの栄養価は異なりますが、いずれもたんぱく質や亜鉛、ビタミンEが豊富に含まれ、美肌や疲労回復に役立ちます。また、赤い部分にはアスタキサンチンというカロテノイドの一種が含まれ、活性酸素を除去する働きがあるとされ、がん予防の効能が期待されます。えびは低脂肪ですが、血液を健康にするEPAや頭を健康にするDHAの含有量は意外にも牛肉や豚肉、鶏肉といった高脂肪の肉類より多く含まれています。

### ●他の食品との組み合わせ

野菜に含まれるβカロテンやビタミンB群、C、食物繊維などの栄養素は不足するため、これらと同時に摂取するようにしましょう。

えび



ピックアップ食材

## 海老ときのこの甜麺醤炒め

### 【材料】(2人分)

海老(ブラックタイガーやバナメイエビ等)	15尾(可食部 200g)
こしょう	少々
片栗粉	大2
お好みのきのこ	100g程度
おくら	4本
A 豆板醤	小1
にんにく(みじん切り)	1片
油	大2
B 甜麺醤	大1小1
酒	大1
砂糖	小2
濃口醤油	小1

### 【作り方】

- ①きのこは食べやすい大きさに切っておく
- ②おくらは食べやすい大きさに切り、軽く茹でておく
- ③海老の頭を腹側に折り曲げるようにして背ワタと一緒に取り、水気をとったら片栗粉をまぶしておく
- ④フライパンにAを入れて弱火にかけ、香りが出てきたら3を入れて両面をこんがりと焼く
- ⑤きのこ、おくらを入れてさらに炒め、しんなりしてきたらBを入れて味をととのえる



### 【栄養成分】1人分

エネルギー	295kcal
たんぱく質	22.5g
脂質	13.8g
塩分	1.5g
食物繊維	6.0g

# 初期臨床研修医

「臨床研修指定病院」として、今年も新たに8名を迎えました。希望に胸を膨らませた、明日を担う若い医師たちを紹介します。



山下 修人  
(やました しゅうと)

**Q.1** 最初は創薬をする薬剤師を目指していましたが、祖母が事故で入院した際に、より患者さんの近くで命を救える医師になりたいと思うようになったからです。

**Q.2** 病院見学の際、上級医の先生方やスタッフの皆さんからとても親切に接して頂きました。また、病院全体で研修医を育てていこうという雰囲気を感じ、当院を研修先に選びました。



大久保 崇伸  
(おおくぼ たかのぶ)

**Q.1** 子供の頃、喘息で病院に行くことが多々ありました。

患者さんのために働かれている先生方の姿を見ることで、医師という仕事に憧れを抱いたのがきっかけです。

**Q.2** 見学で病院の雰囲気のよさを感じたことと、志望科の整形外科について多くを学べると思ったからです。



藤後 祐介  
(とうご ゆうすけ)

**Q.1** 両親が医療関係者で、幼い頃から憧れがありました。具体的に医師を志したのは進路指導の時、人の命を預かるという唯一無二の仕事に魅力を感じ、この道を選びました。

**Q.2** 整形外科志望で、整形がしっかり学べる病院と、趣味のモータースポーツに関係する仕事を考えていました。そんな時、当院には高いレベルの整形外科があることを知り、ここしかないと思いました。



下山 真衣  
(しもやままい)

**Q.1** 人と直接関わる仕事がしたかったこと、受験期に憧れの先輩が女医として働かれている姿を見て自分もそうなりたいと思ったのがきっかけです。

**Q.2** 実習でお世話になった際、指導医の先生方から丁寧な指導をして頂き、また職員の方々がいきいきと働かれている姿を見てこの病院で働きたいと考えました。

## QUESTION 2

**Q.1 医師を目指したきっかけ**

**Q.2 研修病院に回生病院を選んだ理由**

**Q.1** 小さい頃からスポーツで怪我をして整形外科の先生に診て頂くことが多かったので、医者という職業に接することが多く、自分もそのような職業に就けたいかなと思いました。

**Q.2** 整形外科を志望しており、鈴鹿回生病院は県内でも症例件数がトップレベルであるため多くの経験を積ませて頂けると思ったからです。



渡辺 健斗  
(わたなべ けんと)

**Q.1** 小さい頃から医師である叔父がいきいきと働いているのを見て、漠然と医師に憧れていました。祖父が入院した際に、体の治療だけでなく家族の心のサポートまでしていただき、そのような医師になりたいと思いました。

**Q.2** 学生実習でお世話になり、病院全体の雰囲気がいいこと、上級医の先生方が親切に指導してくださったこと、研修医の先生方がいきいきとされており自分もこうなりたいと思ったからです。



宇佐美 勇輔  
(うさみ ゆうすけ)

**Q.1** 両親が医師であったため、幼い頃から医師にあこがれています。両親のように立派な医師になれるように一生懸命頑張ります。

**Q.2** 病院見学の時に先生方や、人事課の方がとても親切で雰囲気も良かつたので、初期研修の2年間を過ごしたいと思い、決めました。



水谷 裕之  
(みずたに ひろゆき)

**Q.1** 小学校1年生の時に怪我で急性硬膜外血腫という病気になり、その時の手術をして下さった先生に憧れて医師になる事を決意しました。

**Q.2** 当院には脳卒中センターが併設されており、脳に関わる症例が多く経験出来ると考えたからです。

## リハビリテーション科のご案内

これまで整形外科としての診療を行ってきましたが、本年度よりリハビリテーション科を担当させていただくことになりました。昨年度、リハビリテーション医学会専門医の資格を取得し、当院においても質の高いリハビリテーションを提供できるようになりました。リハビリテーション科の対象は、運動器障害、脳血管障害、循環器や呼吸器などの内部障害、摂食嚥下障害、小児疾患、がんなど幅広く、リハビリテーション科専門医の役割が重要となります。当院では急性期病棟に加え、在宅復帰を目的とした地域包括ケア病棟もあり、患者さんのニーズに合ったリハビリテーションを提供できるよう取り組んでいきたいと思います。

今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

リハビリテーション科 部長／福田 亜紀



## 生命の駅伝

がん研究を支援する目的で、生命の駅伝が開催されました。今年は5名の職員がランナーとして参加し、5月15日(火)に桑名市総合医療センターをスタートし各協力施設をまわりながら同日夕刻に鈴鹿回生病院にゴールしました。当日は、多くの職員がゴールの瞬間に立会い、患者さんにもランナーのお出迎えにご参加頂いて募金の贈呈を行いました。



## 看護の日

5月11日(金)、ナイトングール誕生の日を記念し、看護の日を設定しました。「看護の心は、みんなの心に」をテーマに、血圧測定・アロママッサージ・栄養相談を行い、外来患者を中心参加していただきました。



## 糖尿病教室のおしらせ

糖尿病教室を開催します。開催の1週間前までに下記へお申し込みください。

都合により日時が変更になる場合がありますのでご了承ください。



栄養管理課：059-375-1329  
参加費：9月・11月は500円（おやつ付き）、それ以外の月は1000円（食事付き）  
※自然災害などにより中止させていただく場合は前日に連絡させていただきます。



### お申し込みは

9/5 (水)	14:00 ~ 16:00
10/4 (木)	11:30 ~ 13:45
11/8 (木)	14:00 ~ 16:00
12/6 (木)	11:30 ~ 13:45
2/7 (木)	11:30 ~ 13:45
3/7 (木)	11:30 ~ 13:45

### 病院の理念

### 生命への奉仕

### 病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し安全で高度な医療を提供します
- ▶ 将来を担う有能な医療従事者の育成に努めます
- ▶ 地域と連携し災害時救援活動を行います
- ▶ 働きやすく健全な病院運営に努めます

## 第11回桜フォトコンテスト 各部門受賞作品決定!!

患者部門 理事長賞  
「旅立ちの時」



患者部門 院長賞  
「ういいういしい微笑み」



### みなさんからのご意見

- すばらしいの一言です。いい作品を見させて頂きました。
- 病院での待ち時間にこんなきれいな写真が見れてすっごく良かったです。

※ご紹介できなかった各部門の受賞作品とご意見はHPに掲載しています。是非ご覧ください!

## 新任医師のご紹介



### 消化器内科

村嶋 佑美  
(ムラシマ ユミ)



### 看護補助職員を募集しています。正職員2名

患者さんの日常生活援助、ベッドメイキング等を行って頂きます。経験のない方でも大丈夫です!! 病院見学も随時しております。お気軽にお問い合わせください。

担当：看護部 横田  
TEL 059-375-1332(看護部直通)

### 編集後記

今回は「健診センター長紹介」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。

鈴鹿回生病院 広報委員会  
〒513-8505 三重県鈴鹿市国府町112番地の1  
TEL 059-375-1212 mail:info@kaiseihp.com